会議等報告用紙

会議名	令和6年度第3回亀岡市まちづくり協働推進委員会
日時	令和7年2月17日（月） 14時00分～16時00分
場所	亀岡市役所別館3階 会議室
出席者	委員：谷口委員長、田部副委員長、阿久津委員、石田委員、京谷委員、木曾委員、齋藤委員、則松委員、田畑委員、森下委員、 （欠席：井内委員、木久委員、長瀬委員） 事務局：樋口課長、香川副課長、関沢主任、藤井 傍聴人：1名
内容	1 開 会 2 あいさつ 3 協 議 1. 令和6年度実施事業報告及び予定について 2. 令和7年度まちづくり協働推進実施事業について （1）亀岡市支えあいまちづくり協働支援金 （2）ふるさと亀岡まちづくり応援事業 （3）市民に向けた協働に関する事業について 3. まちづくり協働推進実施計画について 4. その他 4 閉 会

報 告	<p><主な意見></p> <p>1. 令和6年度実施事業報告及び予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査を行う際に、事務局の基盤が整っているか、やりたい事業に耐えうる体制が構築されているかを具体的に確認する項目を設ける必要がある。 ・ ワークショップは非常に楽しく、講義の内容も勉強になることが多かった。 ・ 参加人数が非常に少なく、新たに学びたいと思う人や新しい参加者を促す空気感があれば良かった。 ・ ワークショップ講師の発言について、市主催事業としての立場から考慮が必要だった。 <p>2. 令和7年度まちづくり協働推進実施事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙に書いてある情報が多く文言が固い。まずは聞いてみようという気にさせるべき。 ・ 補助金の性質上文言は一定程度固くていい。 ・ はじめて団体を立ち上げようとする時に5人以上のメンバーを集めるのは難しい。 ・ 設立3年以内について、設立後3年以内の団体を優先しますという文言がいい。 <p style="padding-left: 2em;">(2) ふるさと亀岡まちづくり応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄附集めが困難で、事務量が多い印象がついてしまっている。どう寄附の広報をするのか、どう共感を得るのかということについて、亀岡市が伴走支援をするべき。 <p style="padding-left: 2em;">(3) 市民に向けた協働に関する事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明会についてもう少しハードルを低くして、皆さんが参加しやすい場を作るのはどうか。はじめてまちづくりをする方の活動を応援する、人と人をつなぎ、情報提供も入れられればいい。 ・ 日ごろの情報発信を、市民の話をしっかり聞けるマインドで行ってほしい。 <p>3. まちづくり協働推進実施計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ型団体と地縁型団体のマッチングは亀岡市にとって非常に急務。 ・ 成果が非常に抽象的。表に関してもやること自体が目的化している。 ・ 5年前と今を比べて数字が取れるといい。参加者や受益者の声を拾っていくことで、ヒントが見つかる。
-----	--